

「人権の花」運動

11月18日、武蔵ヶ丘北小学校で「人権の花」イベントが開催されました。このイベントは、4月30日に人権擁護委員協議会から贈呈された花の種を、児童が半年かけて大切に育て、たくさんの種を採取しました。

当日は、体育館で人権について擁護委員代表の上村隆一さんの話や児童による作文発表の後、校庭に出て児童一人一人が「全ての人の人権を大切にしたい」との思いを込めてメッセージを書いた袋に、花の種を入れ、紙風船に付けて大空へ飛ばしました。

学年ごとに色分けされた400個の紙風船は、鮮やかに空に広がり風に乗って飛んでいきました。イベントに参加した全員が、遠くまで飛んでいって多くの人に「人権を大切にする気持ち」が伝ってほしいとの思いで空を見上げていました。



▲思いをのせ旅立つ紙風船

育児講座～岸信子さん講演会

11月19日、老人福祉センターで、町子育て支援センター白鈴園「ハローサークル」主催の子育て講演会が開催されました。

この講演会では、大家族のお母さんとしてテレビなどでおなじみの岸信子さんが講師を務め、長年の経験から日々の子育ての様子や子育ての秘訣など、ほのぼのと話されていました。



▲子育ての秘訣を話される岸さん

第9回おはなしフェスティバル開催

11月23日、町図書館ホールで第9回おはなしフェスティバルが開催され、菊陽町小・中学生読書感想画コンクール表彰式や小学生による童話発表、おはなしの森さんさんによるペープサート「しあわせハンス」、人形劇ぶっくるによる「はなさかじい」などが上演され、親子で楽しめるほのぼのとした催しとなりました。



▲ペープサート「しあわせハンス」

ストップ温暖化大作戦 「一村一品・知恵の輪づくり事業」熊本県代表に選出

11月9日、崇城大学市民ホールで、熊本県ストップ温暖化県民総ぐるみ運動推進会議が開催され、南方区有志でつくる「みんながたグリーンクラブ」の取組事例が最優秀賞を受賞しました。

最優秀賞を受賞したこの取組事例は、家庭で簡単にできるCO2削減を目標に、室温の上昇を抑え、冷房などの電気使用量を抑制する効果があるニガウリのグリーンカーテンを自宅の軒下に設置することで、温暖化を防止しながらビタミンが豊富なニガウリの収穫ができるという、誰でも楽しくおいしく取り組める事例として発表されました。

また、同時に環境省が委託事業として行っているストップ温暖化大作戦「一村一品・知恵の輪づくり事業」の熊本県代表としても選出され、2月14日(土)・15日(日)に東京で行われる全国大会に出場し、この取組事例の発表をされます。



▲みんながたグリーンクラブの皆さん

鉄砲小路の生垣剪定ボランティア作業

11月16日、堀川地区の鉄砲小路で東海大学阿蘇キャンパスの農学部学生でつくる「緑の会」によるボランティア生垣剪定作業が行われました。このボランティア作業は、「緑の垣根運動」を提唱した同大学の故戸田義宏教授の呼びかけで始まり、その後も遺志を受け継ぐ学生たちにより毎年行われており、今年で27回目となりました。

作業終了後に行われた、地域住民との交流会では、特製だご汁や地元産お米のおにぎりなどがふるまわれ、食事をしながら、なごやかに住民との交流が図られました。



▲剪定作業



▲作業後の交流会

食の名人に認定

11月20日、熊本テルサで、くまもとふるさと食の名人認定式が行なわれました。

食の名人とは、食に関する卓越した知識、経験、技術等を有し、食の大切さを地域に伝える役割を担う人材を県が認定するものです。

本町からは、町農産加工グループで日頃より食育活動などに熱心に取り組まれている板楠ミエ子さん(下津久礼)が、町特産のにんじんをPRしたいと考案したキャロットケーキを出品し、特産加工品の部で認定されました。



▲キャロットケーキ



▲食の名人板楠ミエ子さん

第4回菊陽町次世代育成支援「陽っ子まつり」開催

11月30日、町図書館ホールで、陽っ子まつりが開催され、保育園の様子を伝える展示とステージの部（3部構成）で行われました。

展示の部では、保育園での様子の写真展示や、子どもたちによる生活画、給食の先生たちによる手作りお菓子の紹介などが行われました。また、ステージの部では、町内保育所と児童館に通う親子による歌や踊りの発表や厚生労働省の委託事業である「動くこどもの城～おはなしおんがくパンパカパーン」という演目で、絵本の読み聞かせが行われ、ピアノとパーカッションで雰囲気を出しながらのお話しの、子どもたちは、わくわくどきどきしながらも目を輝かせて鑑賞していました。

イベントの締めくくりは、本町で活躍している「ひなぎく合唱団」による歌の合唱も披露され、会場の親子はゆったりと楽しい時間を過ごしていました。



▲児童たちによる発表



▲おはなしおんがくパンパカパーン



▲ひなぎく合唱団

第12回菊陽町人権フェスティバル開催

12月6日、町民体育館で第12回菊陽町人権フェスティバルが開催されました。

この催しでは、前半に町内の小中学生による菊陽町人権子ども集会が行われ、各学校から身近にある人権問題や命の大切さなどを語りかける展示発表やステージ発表が行われました。

また、後半には北朝鮮による拉致被害者松木薫さんの姉である本町在住の齊藤文代さんによる拉致問題を考えるお話がありました。齊藤さんからは、松木さんの幼い頃のお話や突然の拉致により家族が置かれた状況などのお話があり、また、先に結成された拉致被害者家族の支援団体「菊陽ブルーリボンの会」の紹介もありました。



▲菊陽西小学校による発表



▲齊藤さんによるお話



▲活動への協力を呼びかける菊陽ブルーリボンの会



▲武蔵ヶ丘北小学校による発表

菊陽町クイズスタンプラリー開催

11月23日、JR三里木駅をスタート、ゴールとする菊陽町クイズスタンプラリーが開催されました。

この催しは、JR九州が毎年行っているJR九州ウォーキングと合同で行われ、町内外から参加した約480人が、景色や地域住民との交流を楽しみながら、スタンプラリーポイントの山内本店味噌・醤油資料館や鉄砲小路など8kmの道のりを歩きました。

また、ゴール前ポイントの「さんふれあ」では、スタンプラリーと一緒に開催された菊陽町クイズの全問正解者に町特産品のプレゼントがあり、参加者は、いいお土産になったと喜んでいました。



▲鉄砲小路を散策する参加者



▲特産品をお土産に

秋の感謝祭

11月22日、菊陽町総合交流ターミナルさんふれあで、さん彩出荷協議会による「秋の感謝祭」が開催されました。好天にも恵まれ、開始前からにんじんの詰め放題コーナーや、だご汁の振る舞いコーナーには長蛇の列ができ、大勢の来場者で賑わいました。今回振る舞われただご汁は、町特産のにんじんをPRしようと、すりおろしたにんじんを練りこんだだごを使用したもので、鮮やかなオレンジ色のだごは、来場者の関心を集めました。



▲にんじんの詰め放題を楽しむ参加者

生涯スポーツミーティング IN くまもと「クラブ交流大会」準優勝

11月23日、熊本県下の総合スポーツクラブが一堂に集まり、さまざまなスポーツを体験する催しである生涯スポーツミーティング IN くまもとが、パルクドーム熊本で開催されました。

この催しには、本町のスポーツクラブきくようから90人が参加し、スポーツクラブ対抗のクラブ交流大会で行われた、長縄跳び、年代別リレー、グランドゴルフ大会などの種目の総合の結果、見事準優勝を受賞しました。

スポーツクラブきくよう（☎233-1520）



▲準優勝したスポーツクラブきくよう会員の皆さん